

---

# 価値転換期における経営

---

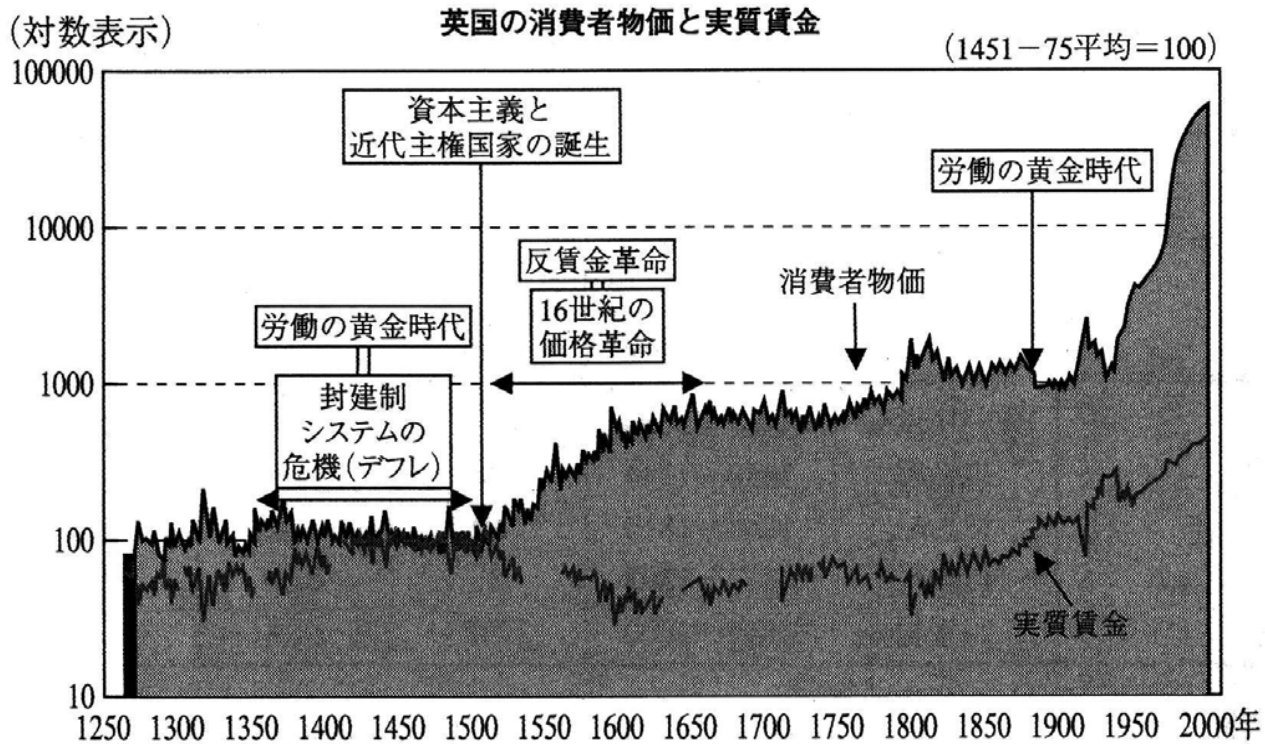
ジョンソンコントロールズ株式会社  
取締役 石川 裕一

2010年2月15日

---

- 1. 日本のデフレーションは世界的な背景によるも
- 世界史的背景(次ページ参照願います)
  
- 2. 日本のデフレーションの歴史的背景
- 日本史的背景
  
- 奈良時代・平安時代(外来文化からの影響を受けた発展期)
- 鎌倉時代から室町時代(停滞期 デフレーション)
- 安土桃山時代から元禄時代(外来文化からの影響を受けた発展期)
- 元禄時代から明治維新(停滞期 デフレーション 改革の連続)
- 明治維新から1990年まで(外来文化からの影響を受けた発展期)
- 今後(停滞期 デフレーション 改革の連続)
  
- 3. 今後の見通し
- インフレーション期待の中におけるデフレーション
-

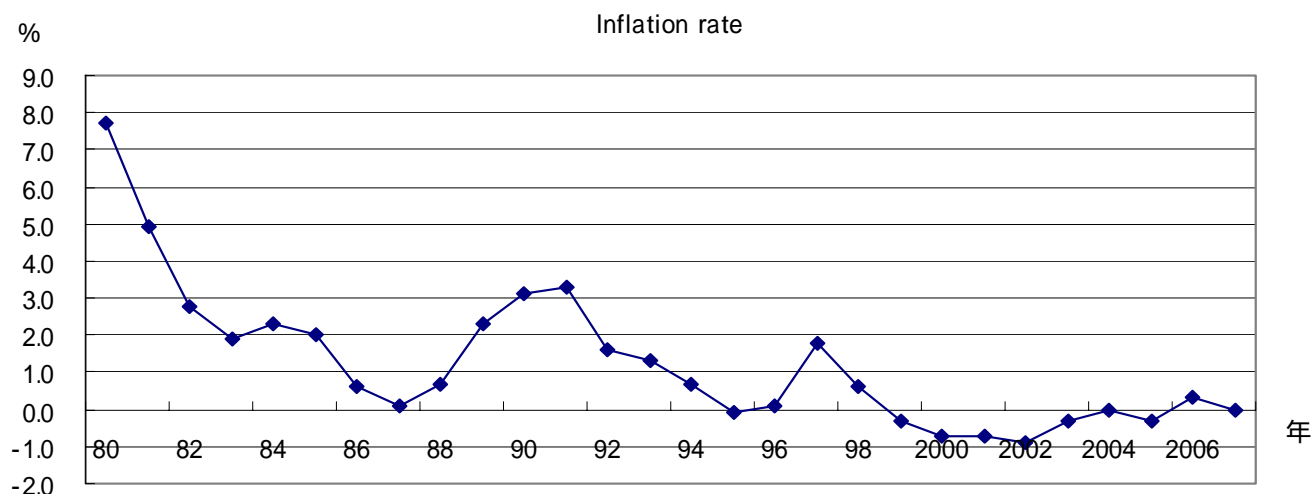
### 図表1-1 物価と賃金の歴史——21世紀のデフレ革命



(注) 1961年以降OECDの統計に接続

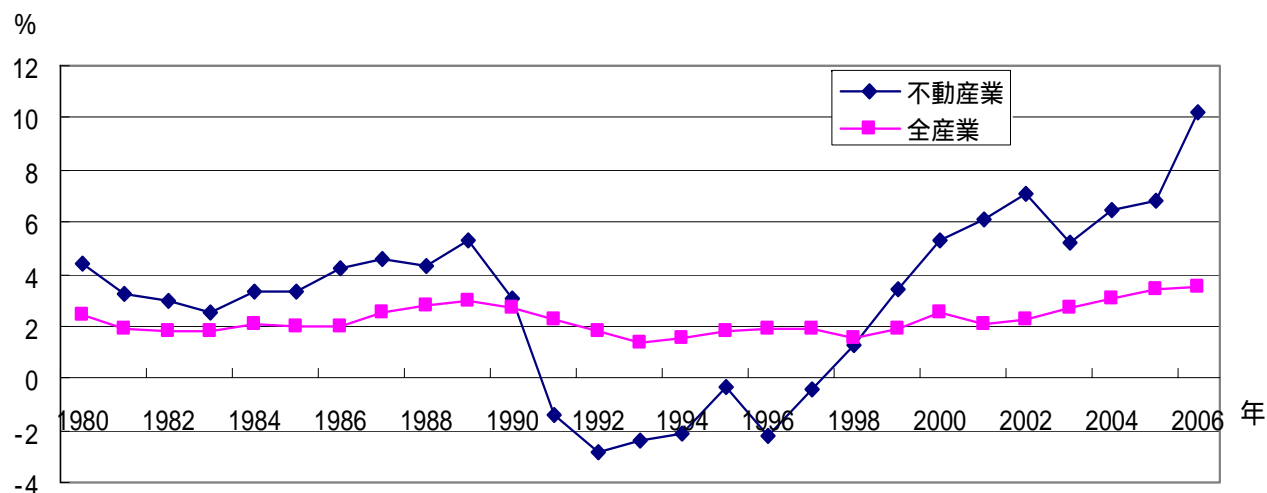
(出所) B・R・ミッチェル『イギリス歴史統計』『マクミラン世界歴史統計』、  
OECD『Economic Outlook』

- デフレーションの認識
  - 昨今のインフレーションレートによる検証
  - 国、企業すべてがインフレ前提のビジネスモデル
- ハンディキャップなしの資本主義競争経営へ
  - 企業のアセットの見直し
  - 知識経営への移行
- サブプライムローン問題以降の環境



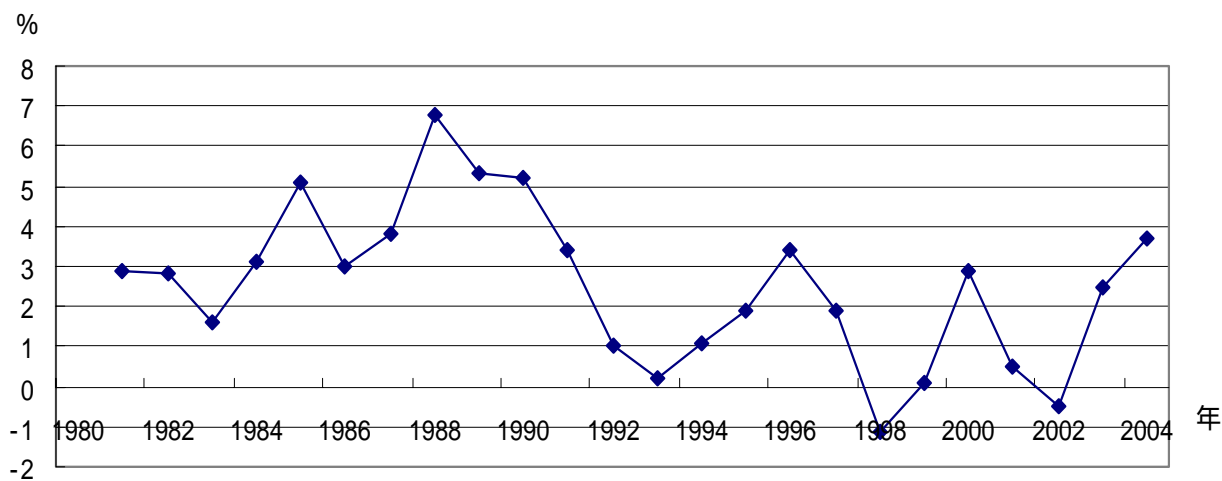
出所: 内閣府

企業の経常利益率の推移



出所: 財務省

GDP



出所: 内閣府

- 5

#### 四半期別GDP速報

2009年7～9月期（2次速報）の実質国内総生産は、前期比0.3%増（年率1.3%増）となった。

（実質値、季節調整済前期比、（ ）内は寄与度、％）

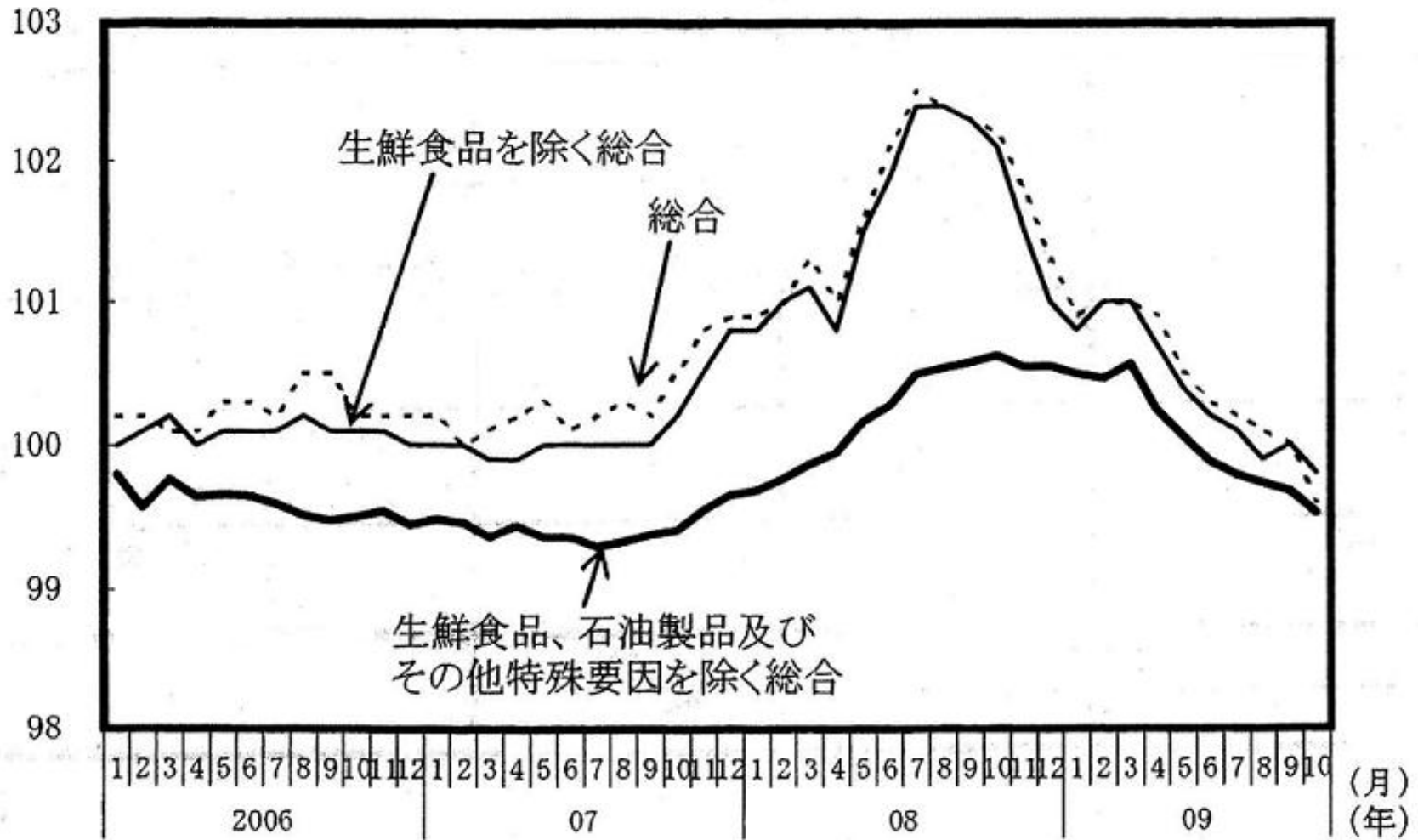
	2007年度 (平成19年度)	2008年度 (平成20年度)	2008年		2009年			
			7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	(寄与度)
実質国内総支出 (GDP)	1.8	▲ 3.7	▲ 1.0	▲ 2.7	▲ 3.1	0.7	0.3	—
(前年同期比)			▲ 1.4	▲ 4.1	▲ 8.9	▲ 5.8	▲ 5.1	—
国内需要	(0.6)	(▲ 2.6)	(▲ 0.5)	(▲ 0.4)	(▲ 2.4)	(▲ 0.7)	▲ 0.1	(▲ 0.1)
民間需要	(0.5)	(▲ 2.3)	(▲ 0.5)	(▲ 0.6)	(▲ 2.6)	(▲ 1.0)	0.1	(0.0)
民間最終消費支出	1.4	▲ 1.8	▲ 0.1	▲ 0.9	▲ 1.2	1.2	0.9	(0.6)
民間住宅	▲ 13.5	▲ 3.7	3.9	2.5	▲ 6.4	▲ 9.4	▲ 7.9	(▲ 0.2)
民間企業設備	1.3	▲ 6.8	▲ 4.4	▲ 6.7	▲ 8.4	▲ 4.6	▲ 2.8	(▲ 0.4)
民間在庫品増加	(0.0)	(▲ 0.1)	(0.2)	(0.9)	(▲ 0.4)	(▲ 0.7)	—	(0.1)
公的需要	(0.0)	(▲ 0.3)	(▲ 0.0)	(0.2)	(0.3)	(0.3)	▲ 0.4	(▲ 0.1)
政府最終消費支出	1.5	▲ 0.1	▲ 0.2	1.2	0.7	0.3	▲ 0.1	(▲ 0.0)
公的固定資本形成	▲ 6.4	▲ 6.6	0.7	0.4	3.7	6.3	▲ 1.6	(▲ 0.1)
財貨・サービスの純輸出	(1.3)	(▲ 1.1)	(▲ 0.5)	(▲ 2.3)	(▲ 0.7)	(1.4)	—	(0.4)
財貨・サービスの輸出	9.2	▲ 10.4	▲ 2.0	▲ 13.9	▲ 21.3	6.5	6.5	(0.9)
財貨・サービスの輸入	1.8	▲ 4.4	0.7	▲ 1.6	▲ 15.0	▲ 3.4	3.3	(▲ 0.5)
GDPデフレーター	▲ 0.9	▲ 0.5	▲ 1.2	0.4	0.3	▲ 0.5	▲ 0.5	—

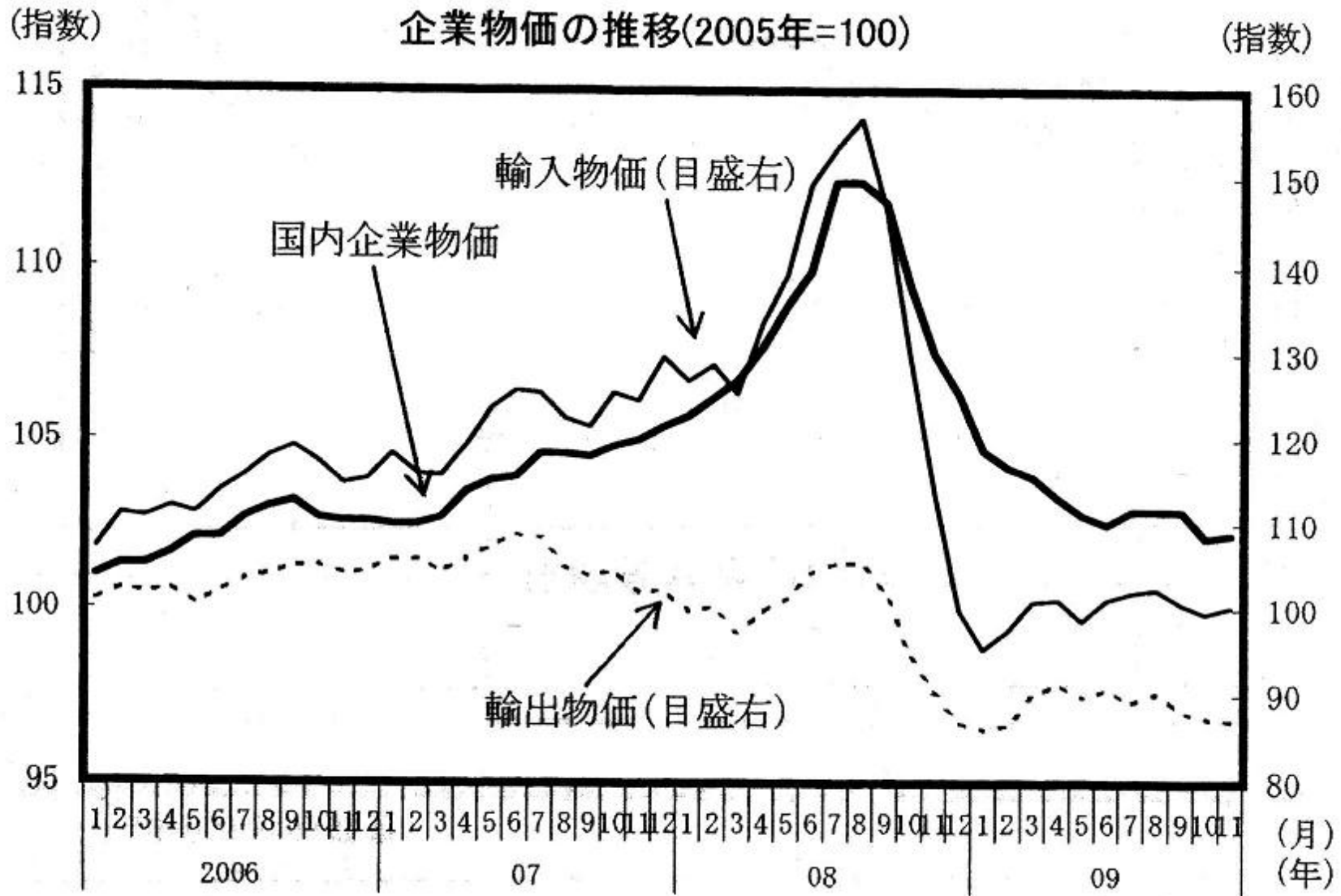
（備考）基準年（実質値・デフレーターにおける指数算式のウェイト統合の基準となる年）：前暦年  
GDPデフレーターは前年同期比



(季節調整済指数)

消費者物価の推移(2005年=100)







- 1. マネージメントの日本語の適切なる訳語
- 時代によって異なる適切な訳語
  
- 2 . アンリ・フィヨールの言葉
- マネージメントは管理することばかりではない
  
- 3 . マネージメントの意味を現代の経営に対応させた ピーター・ドラッカー
- 「創造する経営者」著し 戦略と言う考え方をマネージメントの最前線
- に展開した
  
- 4 . ファシリティー・マネージメントの意味
- 施設管理ではなく、経営の一部門である

- 1．これまでのマネジメントのプロセス
- 2．他企業を先んじると言うビジネスモデルの終焉
- 3．ナレッジ・クリエーションの意味
- 4．次世代における勝利者のあり方
- 5．知識の創造企業におけるファシリティ・マネージャーの役割

- 戦略的なポジショニングの変更
  - 情報収集と開示
  - コンテンツの充実 ものづくりからことづくりへ
- 独自の経営資源の調達
  - 暗黙知の共有化と活用
- 新しい経営資源の創造
  - 環境変化に対応する仕組み・仕掛け作り
  - 創造力と行動力を備えた組織

- 1 . 資本主義の継続と会社の存続
- 2 . 社会に貢献するためには利益、そしてその配分
- 3 . 継続的發展のために
  - ジョンソン・コントロールズ社のあり方
- 4 . 本当の価値とは何か
  - 価値の崩壊に伴う社会の今後
  - 近代の資本主義経済は科学と技術万能であり、合理的精神が優先され、自由と平等を実現することを目標とした。
  - 合理性イコール価値という時代の見直しであり、非合理性が価値という時代への突入である。